

刊夕日八廿月七

常警毎日新聞

定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾八圓 一年五拾五圓
送料別
電話 六二〇〇
印刷 東京印刷株式會社

ラヂオの佛法僧

辰巳 和子

(承前)翌日は風も無く静かでしたが矢張り月は無く暖かな晩で、耳を澄ますと前夜よりははつきりと聲は流れまたつくづく聞いて居ると前年の時より其聲は何となくもの寂しい感じがしてならないのです。前年の時には時々枝移りつゝ其處に聲も牙えて行つた様でしたが、今年の聲は枝移りする様子もなく、じつと一つ梢に啼き續けて居たやうです。私は色々考へた末これは月が無い爲ではないかしらとふと思つたのですそれは、いつか讀んだ秋水の佛法僧の文章の中にも谷を埋めた杉の一本々の梢が見分けられる様な月夜に其聲が明らかに牙を響いたとあつた事や、また去年月の美しい夜に放送を聞いた印象などから思ひ合はせて私の想像は月と佛法僧とを結び付ける迄に至つたのであります。

が見えるやうに思へるのでした。

(もりあをがへる) (むさ) (び)の聲も無気味な程はつきりと入り、風來寺山地嶽谷の夜は更けるらしく、峽にこだまして牙ゆる三寶

- 00000000000
- 明日の献立
- 00000000000

- 【朝】味噌汁-大根の葉 小付 煮まめ 馬鈴薯 煎り煮-豚肉 蓮根
- 【晚】鱒壽し 紅生姜

の聲は實に掌を合せ度い程敬虔な氣持になるのです。其の夜私は最後の一聲までとも耳を傾けて居たのでしたから。



夏々の夕ぐれ

青芝 港二

如露ですしい、水撒けば蜻蛉が低うとぶお庭をよ風吹いてお店から土間へと抜けるつばくらめ

お針の手とめ 母さんが まあいゝ風と云ひなせる

風鈴屋さん

風鈴屋さんが おもてを來るね

いそいで僕らが 出てみます

歩けばリンリン 止ればリンリン

ありがと 毎度でまたリンリン

風鈴屋さんが、にこにこ通る

水撒屋さんに おじぎした

こんちはリンリン あついでねリンリン

お精が出るね、またリンリン

風鈴屋さんが 遠くへ行つた

あそこからよ風 ついて行く

遠くでリンリン 音だけリンリン

残つた僕のも またリンリン

文藝募集

ウナギ丑の日大賣出し

大蒲焼 榮養の王座!
うなぎ川 味覺の覇者!
柳川
丑の日には定評ある魚榮のウナギを多少に不拘是非御用命御願致します。

うなぎ魚榮

(配達迅速) 電話四二四番

移轉お知らせ

今般左記へ移轉致候間此の段謹告仕候也

石城郡平町鍛冶町七番地(鍛冶町中央)

郡山無盡株式會社

平出張所

電話一〇番

弊院儀今般都合により元平郵便町裏三丁目裏川岸通りに移轉仕候從前通り診療に從事仕り候間右謹告仕り候
七月二十五日

田町五番地

明雲堂眼科醫院

新妻幸之助 電話六六九

吉例土用丑

牛肉大賣出し

三十日土用丑

滋養豊富な牛肉、是非

平町田町 石川亭 電話四十三番

夏の御飲み物

- アイスクリーム アツキアイス
- ミルクケーキ 別味 みつ豆
- ソーダ水 色々 特製 氷あづき

例年通り始めました

ほどよく香のよい宇治名産氷挽茶、御土産に好適なクリームモナカも御座います。

平二警察署通り 魚清食堂

電話六六三三

ママの! 婦人子供服

特價大賣出し

自七月二十五日 七日間
至七月三十一日

帝都一流デパートより、外になきこの型の柄

新型と新柄の婦人子供服豊富に取揃へ大特價賣出し
製品は全部デパートおさめの一流製造家よりの直仕入品につき
必ず御氣に召す! 婦人子供服
平町式丁目(電話六〇五)

山家メリヤス店

酷暑の峠まだく

限りなき狂熱禍!

汗に喘ぐ人間界は

正にドチヨウ地獄

昨日の九十二度五分の酷暑に續いて今日もまた朝から水銀柱がぐんぐん昇る人間界は正にドチヨウ地獄の観である小名濱側候所は例年の最も暑い時が八月十日前後ですからまだくあつさの峠と言へません夕立か颪風が来て暑さを一掃して呉れると好いのですが合憎今晩も明日も夕立は来そうになく颪風の氣配もありませんとおつさを全く諦め切つた御託宜で此處許何處へもとりつく島がなく焦げつく街頭に各濱の宣傳ビラが毒々しい色彩で人の眼を刺撃する

米共同販賣を行ふが最近では中農以下の農家は持米なく他主運は引續く米價下廻りに持米を手雜さぬので共

販出荷は目下飯野の九十俵より外なく最近に珍らしい出荷漸を豫想されて居る

躍る水銀柱

江名の鯉漁船が

金華山沖で大漁

最高一萬九千圓の水揚

江名町大型鯉漁船十隻は沿岸漁場が潮流關係で不漁のため金華山沖合百八十裡に出漁中であるがこの程同町漁業組合の調査に依ると最高獲漁高は榮福丸二萬九千圓、最低萬勢丸の六千圓で十隻では優に十萬圓以上の豊漁で現在宮城縣鹽釜、石ノ巻港に水揚中であるが水揚相場は豊漁のため四割方低價である

販米出荷數

僅に九十俵!

平農業者庫は來る卅一日飯

凱歌の響中軍

力強い 奮戦の跡!

頭上に懸る甲子園 正に絶好チャンス

縣下中等野球界の制覇成り 昨二十七日意氣揚々凱歌を

縣道披露

内郷の喜び

今春四月新縣道線に編入された綴、高野線の披露祝賀會は來月七八日頃同村内郷館で盛大に關係者を招き開催される筈

防護團の

方部區分

平町は明二十九日午後一時から同町會議室に過般結成を見た防護團に關し、同町を三方部に區分した防護團細則を協議する。尙防護團常任委員並に三方部(西部東郡、北部)の團長副團長左の如し

明日出發

宿舎は藤金

警女の競技、庭球、排球、籠球各部選手一行六十名は明二十九日午後八時三十分で三十日福島市に開催される縣下体育大會の王座を目前し正木校長其他各教諭に引卒されて出發するが宿舎は福島駅前藤金支店で歸校は

三十日平着午後九時二十五分の由である

荷揚場舗裝

中之作で申請

江名町中之作港荷揚場は從來降雨毎に泥土と化し車馬

平町で國運

隆昌祈願祭

惹起して全國民を震撼させた二、二六事件の不祥事絶滅を期し國運隆昌の祈願祭を執行する

磐炭水泳惜敗

磐炭水泳部は去る二十六日鑛山に遠征し日立プールで對抗試合を行つたが二十二對十四で磐炭惜敗した

優良五局表彰

平郵便局管内三等局で昨年度簡易保險並に郵便年金の募集に優良な成績を挙げた左記五局は此程山田仙臺逓信局長より表彰された

平町人車

回出生

△彌宣町七小野長助氏五女すいさん

すよく健闘ナバリ強さを發揮して遂に十点を引はなし凱歌を奏した、八月二日から山形で行れる東北大會にこの不撓不屈の闘志を以て臨むならば東北代表の紫旗をかざす甲子園出陣も易々たるものあるであらうと素早い一般の期待は當然である。

の交通に不便を來たしてゐるため之が舗裝工事を工費二千圓で區が施行することになり本廿八日午前中平土木監督所に延長四十間、幅員六間の縣有地使用許可申請し來た

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

毎度御引立を戴いてゐる 藤寅では例年通り 冷たい美味しい飲物

アイスクリーム アツキアイス ミルクセーキ リーダー水 ミツ豆クリームソーダ

其他氷水各種 相初めました。是非夏の夕の御散步歸へりに御立寄り下さい。 平一丁目

氷屋

文字はナフトール。キリブセ

涼しげな... カーテン各種

平四丁目

スガノヤ提灯店

のれん部

電九五番

白日下に曝れた

一徳商會の正體

徹底的なインチキ振り

流石の警官も舌を巻く

中産級の血を絞る

既報平町十五丁目
に昭和九年八月以
來一徳合資會社平
支店なる金融業を
營み平地方を中心
に地方中産階級か
ら數萬圓の無盡加
入金を得たが、ま
だ第一回の支拂を
したのみで其後の
支拂を停止

と白石は元仙臺市に「ニコ
／＼貯金會」なる不正日掛
會を組織して政府より營業
停止を命ぜられその後、平
町に前記支店を合法的に創
立、その際仙臺市千葉善九
郎氏外數名の

財産家を社員にする
と稱して同氏等の印鑑を偽
造して虚偽記載の合資會社
の公正證書を作成、更に公
正證書に三千圓出資した如
く装つて實は三百圓で濟ま
せてゐた事實等悪辣な詐欺
的行為が判明、取調への係
官の舌を捲かせて居り

營業を中止した同支
店長白石隆雄(五)に就いて
は去る十八日仙臺市から引
致以來平署に留置したま
菊地部長刑事係りて取調へ
を續行中であるがその後被
害者が續々

平署に訴へ出て居り
現在迄に判明せる處に依る

取調へ進展と共に益々此の種巧妙な詐欺的行為が暴露される模様である

薬品の量を誤り 青年が過失死

熟睡せんとアダリン禍

渡邊村大字野農彌作三男
大竹知男(三)假名は廿七日
午後六時頃寝て神經衰弱で
熟睡できぬため安眠をとる
べし宅でアダリンを朝用床
に就いたが誤つて多量を服

用したのでそのまゝあの世
へ旅立つたのを程經て家人
が発見した

珠算入賞發表 既報
平第二校の珠算競技會は今

二十八日午前九時から催さ
れたが成績は明日發表入賞
者に夫々賞状を授與する由

湯の嶽を 第一校の登山

湯の嶽を 関井嶽に 變更し決行

平第一校の一泊登山は目的

預つた鮮漁代を 拐帯行方を晦す

青くなつた同僚の訴え

茨城縣多賀部平湯町字大平
石川正太郎方雇人鈴木正造
(三)は昨廿七日午前七時頃
鮮魚買出しのため同僚數名
と小名濱にトラックで來り
同町魚市場附近で休憩中同
行の會計から現金三百圓を
預けられたのを奇貨として
そのまゝ、拐帯逃走、行方を
晦ましたので、目下平署で
行方を捜索中

唱歌と遊戯

平第二校は既報の如く明二
十八日一般父兄を招き午前
八時半から唱歌と遊戯の會
を催すがプログラムは左の

今日のプログラム
廿九日

今晚も明日も南
の風晴後夕立模
様

- 今晚の部
- 後六、〇〇 童話「青い小猿」岸邊福雄
 - 後六、二五 青年の時間「東北青年の自覺」平山久
 - 後七、三〇 趣味講演「印度よりネパールへ」天沼俊一
 - 後八、〇〇 獨唱と室内樂 獨唱菊地千代子 室内樂 穴澤須一他
 - 後八、〇〇 但謡「水の民謡」芳澤春洋他
 - 後八、五〇 講談「和田平と度々平」大島伯鶴
 - 後九、三〇 時報 ニューズ 明日の話題 氣象通報 番組豫告

地湯の嶽を関井嶽に變更
來る三十一日午後二時校庭
を出發當夜は山上の常福寺
で修養會を開き翌一日水石
山に登山して午後五時頃歸
校の豫定である由

本を種に 巧な詐欺

平町仲町五六番報販賣業佐
々木雄七(三)は去る四月中
四倉可本町料理旅館業柏屋
こと小港宗吉氏方に至り
「幕末、明治、大正、回顧八
十年史」二巻二十四部を
二十四圓で賣却其金を受取
り小學校へ賣込みの爲め一
寸本を貸して呉れと右の廿
四部を持ち出したまゝ戻ら
ず他にも同様手段で數件の
詐欺を働へたこと發覺、平

- 明日の部
- 前六、三〇 英語會話講座 ショーンズ、パーク
 - 前七、〇〇 朝の修養「福澤諭吉先生の新女大學」高島米峰
 - 前七、四一 教育特別講座「國民教育への要望」田中芳雄
 - 前八、〇〇 母の時間「お子さんたちに何をどんな風に讀ませたらよいか」佐藤春夫
 - 後八、〇〇 五モダン小咄 戸波貞務他
 - 後八、〇〇 國民歌謡 本社編オリズムピク應援歌
 - 「起つて若人」獨唱川崎豊
 - 齊唱大阪音樂學校生徒
 - 後二、〇〇 水泳講座 野口一雄
 - 後六、〇〇 物語劇「木口小舟」夕星座同人(廣島)
 - 後六、二五 講演「科學界のトビック」石原房雄
 - 後七、三〇 講演「歐米の社會教育視察より歸りて」松尾長造
 - 後八、〇〇 清元「道行思案餘(お半)」清元廷葉滿
 - 後八、二五 新日本音樂 吉田晴風他
 - 後八、四〇 ラヂオドラマ「朝日丸」河合武雄他

夫から説諭願
東京市王子區上十條町九八
七武俊妻小名濱町生れ梅澤
シメ子(三)は本月初旬小名
町の兄志賀重次郎方に行つ
て來ると稱して歸郷したま
、歸らず同町内某カフェー
に女給嫁ぎしてゐるらしい
ので説諭して欲しいと夫の
武俊から廿八日平署へ願ひ
出た

- 職を求めの方
- △石版印刷工 二十五才 高卒
 - △藥品職工 二十一才 中卒
 - △西洋洗濯 三十一才 尋卒
 - △コック職工 二十六才 同
 - △コック 二十四才 同
 - △サイドカー運轉手 三十才 同
 - △通信工手 二十三才 高卒
 - △子守 十二才 尋卒
 - △給仕 十六才 尋卒
 - △見習看護婦 二十一才 高卒

裁判一束

△既報水戸刑務所を出獄後
間もなく飯野村や其他で窃
盜を働いた茨城縣多賀郡高
岡村生れ目下住所不定無職
前科四犯鈴木障作(三)に係
る窃盜事件の公判は今二十
八日午前十時から平區で香
西福判事係り氏家檢事立會
の下に開延檢事から求刑判
事から求刑通り二年を即決
言渡され服罪した

繞る瓦解の令

悟道軒圓玉(作)
尾至陽(畫)



一八二 大徳といふ男
越前屋佐兵衛はあたりを見まして江川佐十郎にむかひ

佐「今もいふ通り内々で話すことがあつて来たが、なア佐十郎さん、お前さんも上野に青物などを持ち込んでないかい御恩をうけてゐる、して見れば御門主様のためには出来る丈の力はつくすだらうな」

江「それはお前がいはずとも御恩にあづかつたことは忘れねえ」

佐「それはまつたくか、こゝろいふ時には人の心は狂ふものだ、まけた者に味方をするより勝つたものに味方をすれば金になるなどと、——なア佐十郎さんのおち目に付け込んで金儲けをするのは人間としては出来ねえことだが、お前はどうか思ふ」

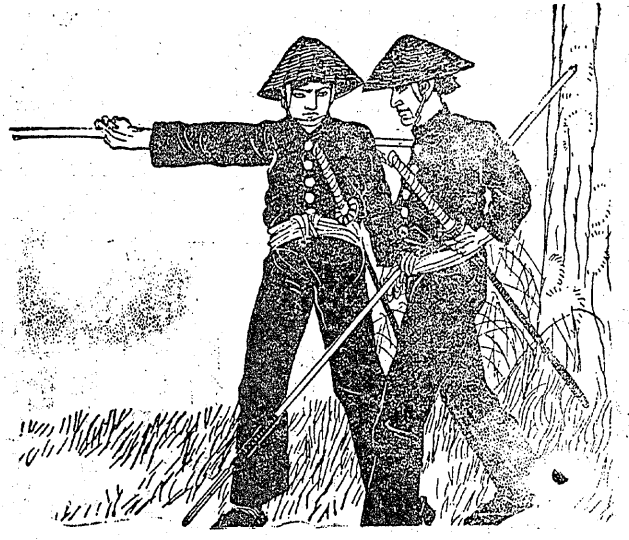
江「妙なこゝろひなさるの俺が官軍のために働いたと思ひなされるか」

佐「イヤさうはおもはねえが人の心は變りやすいものだから、ちすつと叩いて見たのさ、なア佐十郎さんこゝろにこゝろいふことがあるがのう」

聲をひそめてさゝやいた佐十郎はこれ聞いてびつくりしたが

江「何んだと御門主様をおつれ申したと」

佐「さうだ、よう／＼山内をおちてこれまでお供いた



とこれから佐十郎は佐兵衛と共に宮様のお在になる二本榎まで出むき宮様初めお供の者を我住居へおつれ申したが、名主のこゝろて家も廣し、人目にかゝらぬやうと納戸の内へ忍ばせまづかゆをこしらへてこれをすゝめ、なほ茶を立てて参らせ

江「見ぐるしき住居でございまして御迷惑とは存じますが、しばらくこれにおいであそばせ」

と、かう申して大切に致し内外の人にも心をつけて

て来て

○「これ佐十郎、かねて組頭よりも承つて居つたであらうが上野の落人を見かけ次第早速からめ捕つて三輪の屯所までつれて参れ。また落人と知りながらかくまひおくことが知れれば殿科に處せられるぞ貴様からもこのことは支配下の百姓共によく申し聞けろ」

江「かしこまりましたございませう」

○「當家に來客があらばそれも届けて出る、無断にて止めおくと相當の罰をうけるぞ、貴様は上野に青物を入れて永く出入りをいたし居つたものとのこと、この縁に依つて落人の参ることもあらう、かくまつてはならぬぞ」

江「イエそのやうなことはいたしません」

○「吳々もこのことは申し聞けたぞ」

といひおいて引き取る。

そのあとへ村の者が來て上野の戦の話をする、かういふ風では宮様をおかくまひ申すこともならぬ、人の目によれば自然と官軍に知れる、知れば一大事、ハテ何としたものが佐十郎もこれについて苦心いたした、ところであまり人の出入りのなきところへおつれ申したのもといふと

考へてこゝならよからうと出て來た先は下尾久村の豪農小原兵衛のもと、この小原兵衛さんは前名を徳といつて大きな男ですから大徳といはれた剛道な人で

したが尊い御身も今はたちよる影もなく、まことにおいたはしいことだ、どうぞしばらくの間こゝにおかくまひ申して下さい」

江「承知した、この様なみぐるしいところへおつれ申すはおそれ多いことではあるが、落人の身の上ではよんどころないことだ、早速おむかひ申すであらう」

宮様がこゝにおはすること知らせぬ様にした。

と、ころが名主の住居とて出入りの者も多く、それに上野の戦ひにてこの邊へがれて参る彰義隊をおさへて三輪の屯所につき出せと官軍よりの達しもある、す

と槍をたづさへた官軍の兵士がこの村の組頭を案内にして佐十郎のこゝろへ出

まがつたことは大きらい……

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	

平・田町
レストサロン
電三五二番

牛肉賣出し

土用丑日(三十日)には

ヒレ(百匁) 六〇銭
ロース 五〇銭
上肉 四〇銭
並肉 三〇銭

◇其肉は良く、其値も安き賣出であります◇
尙夕刻は込み合ますから電話での御用命はお早く御願致します

平町田町
三一二三肉店
電話 三二三番

計時

高橋時計店

平町二丁目
。小店员募集委細面談。

和漆器と家具は和久屋

暑中御伺

時節柄宣傳には……
是非! チンドンヤを御利用下さい

委細は 平町仲間町六九
丸屋春日亭米之へ

御進物に 鯉節

貝焼 鯉鹽から

魚問屋

志賀盛 目丁四平
番三一三話電